



Title	開会挨拶
Author(s)	鈴木, 一人
Citation	第6回 人文・社会科学系研究推進フォーラム報告書 ワークショップの記録 「人社系が参画・先導する学際プロジェクトとは」, 125
Issue Date	2021-03-29
Doc URL	<a href="http://hdl.handle.net/2115/83464">http://hdl.handle.net/2115/83464</a>
Type	conference presentation
File Information	JF6_hokudai_2-2_Suzuki1.pdf



[Instructions for use](#)

# 開会挨拶

東京大学 公共政策大学院 教授 鈴木 一人

今日は皆さんのお話を伺うのを大変楽しみにしております。今朝も報道されましたけれども、ちょうど昨日、コロナ民間臨調と言われるコロナ対策のプロジェクト、『新型コロナ対応・民間臨時調査会 調査・検証報告書』が発行されました。アジア・パシフィック・イニシアティブが出しているのですけれども、私もそのワーキンググループのメンバーをやっております。NHKなどでも報道されましたので、私のインタビューをテレビでご覧になった方もいらっしゃるかと思います。

この調査も、ある意味、文理融合 — お医者さんですとか、感染症の専門家ですとか、あと私のような文系の人間とが一緒になって勉強した、そういう調査でありました。これも含めてですけれども、今、文理を股にかけた、文理が融合したプロジェクトというものが、いろいろな形で成立し得るんだなと思います。先週の人社フォーラムの講演の部でもいろいろな事例が紹介されましたけれども、そういうものを踏まえて今日は二つのテーマに合わせて、皆さんにグループワークをしていただきます。建設的なご意見が出てくることを期待したいと思っております。